



吉田 詩甫子さん  
SHIHOKO YOSHIDA

## 青年海外協力隊として 世界を見たい

海外に対してや発展途上国の環境に関して興味があった吉田さんは、大学の教育学系学部で学んでいた時に協力隊の話聞く機会があり、自分も行きたいと思いました。しかし協力隊として活動するには、まだ教育に関する知識や能力が足りていないと思い、大学を卒業して一度教員になって経験を積むことにしました。教員として働くうちに、「子どもたちは学校や家庭の中で見たり聞いたりすることだけではなく、もっと広い世界があるということを知る機会が少ないのではないか？」と感じるようになり、子どもたちが多様な価値観を持つように自分が体験したことを伝えたいと思い、協力隊の試験を受けました。そして、2年前（当時25歳）にカメルーンへ配属されることになりました。

## 体験による 学びを伝える

吉田さんが配属された地域は、協力隊が初めて派遣される地域でした。その町に初めて来た日本人でもあり、町の人からは「何しに来



自分ができる事を考え、授業に活かしました

た人なの？」と思われたり、派遣先の小学校では最初は教育実習生のように思われ、自分の役割を説明するのに時間がかかりましたが、根気よく話していくうちに先生方にも理解してもらえたそうです。配属先の小学校では体育や図工、音楽などを教えました。カメルーンの教員養成校では、体育・図工・音楽の指導についてはほとんど学ばず、教科書もないので、現地の先生方もどう教えて良いかわからず困っています。吉田さんがそれらの教科書でできることを教え、先生方も「私もやりたい！」と興味を持ってくれたそうです。「ちょっとずつでしたが、自分ができることを現地の先生方に見せて納得してもらい、協力してもらっていました。そして、「一緒に授業に出て、子どもたちに教えたりもしました」と話します。



特集

# 世界を見てきた黒部の若者 青年海外協力隊の活動を通じて

独立行政法人国際協力機構  
(JICA)青年海外協力隊※1(以下協力隊という)として2年間カメルーンで活動していた吉田詩甫子さん(27歳)、ラオスで活動していた長田光司さん(28歳)。それぞれの分野でそれぞれの地域に派遣されましたが、自分たちの体験を伝えることで、若い人たちが気軽に海外へ行き、様々な体験ができるような機会をつくっていきたくてという共通の思いがあります。  
今回は2人に活動で感じたことや今後やりたいことについてお聞きしました。

※1 青年海外協力隊  
開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献する活動を行っている。帰国後は、日本をはじめ様々な国や分野で、経験を活かした貢献が期待されている。









吉田詩甫子さん



長田光司さん



2019  
1月  
Vol.154  
月

【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成31年1月1日発行

うなづき [参加費] 150円(入館料のみ)



介護予防通所事業  
生き生き倶楽部  
黒部市宇奈月老人福祉センターにて

[時間] 9:30~15:00 [対象] 65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 元日	2	3	4 レクリエーション	5
6	7 季節行事	8 季節行事	9	10 季節行事	11 季節行事	12
13	14 成人の日	15 健康体操B	16 レクリエーション	17 スポレク	18 自力整体	19
20	21 健康体操A	22 レクリエーション	23	24 健康体操B	25 スポレク	26
27	28 レクリエーション	29 自力整体	30	31 レクリエーション	1	2

時間/10:00~ ※■は休館日  
健康体操A 石田みどり先生 健康体操B 村田あゆみ先生  
自力整体 稲田 清美先生 スポレク 健康増進課職員  
季節行事 「書き初め」

くろべ [参加費] 300円(入館料のみ)



介護予防のための  
元気はつらつ体操教室  
黒部市福祉センターにて

[時間] 10:00~11:00 [対象] 65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 元日	2	3	4	5
6	7	8 音楽療法	9 音楽療法	10 音楽療法	11 音楽療法	12
13	14 成人の日	15	16 自力整体	17 健康体操A	18 健康体操A	19
20	21	22 アロマ・ヨガ	23 アロマ・ヨガ	24 自力整体	25 アロマ・ヨガ	26
27	28	29 健康体操A	30 健康体操A	31 アロマ・ヨガ	1	2

時間/10:00~ ※■は休館日  
アロマ・ヨガ 村田あゆみ先生 健康体操A 炭田 亮子先生  
自力整体 稲田 清美先生 音楽療法 畠山 悦子先生



お風呂でのヒートショックを防ぎましょう!

冬場は、ヒートショックを起こしやすく、生命に危険を及ぼすこともあるので要注意!!入浴のひと工夫を心がけましょう。

入浴前に脱衣所・浴室を暖めましょう

- 脱衣所を暖房器具で暖める
- 入浴前にシャワーを出す、浴槽のフタを開ける

体に負担がかからない入浴をしましょう

- 入浴前後の水分補給
- 足先などから、かけ湯をする

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター  
TEL.(0765)65-1820 担当:山内まで



今月の表紙

日の出が綺麗な景色を探して市内を回ってみると、普段は意外と見えていないことに気付かされました。1年の始まりにしか見られない「初日の出」だけは、ゆっくりと眺めてみるのもいいかもしれませんね。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

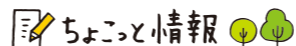
http://www.kurobesw.com/

本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797  
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533  
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp



ちょっと情報

【黒部市の人口】41,493人 【65歳以上の人口】12,791人 高齢化率 30.8% H30.11.30 現在

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。